



©婁正綱

婁
正
綱

Lou
ZhengGang



Beat
Takeshi

たけし
ビート



©オフィス北野



©ダグ・ウェブ

ウ
ェ
ブ
グ
Doug
Webb



想いをアートで歴史に遺す
東日本大震災復興支援
未来絵PROJECT巡回展

絵のちから

2016年7月8日(金)～8月28日(日)

開館時間／午前10時～午後5時(入場は午後4時30分まで) 月曜休館。ただし7月18日は開館

盛岡市民文化ホール
展示ホール

岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1(マリオス4F) ☎019-621-5100

入場料／一般・大学生800円(当日1,000円)、小・中・高生300円(当日500円)

プレイ
ガイド

【盛岡】カワトク、アネックスカワトク、フェザン、マリオスインフォメーション、プラザおでって、東山堂書店、さわや書店、岩手県民会館、盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、キャラホール、姫神ホール、岩手日報社事業部 【花巻】イトーヨーカドー花巻店 【北上】江釣子SCバル、さくらホール 【奥州】奥州市文化会館、メイプル 【大船渡】サン・リア 【二戸】ニコア 【全域】ローソンチケット(Lコード: 22068)、セブンイレブン(セブンチケット)

※岩手日報社では電話・ネット注文も受け付けます。 ※前売り券の販売は、7月7日(木)まで。当日券は各コンビニエンスストアでも取り扱いいます。 ※障がい者手帳提示の方(付き添い1名まで)／10人以上の団体／65歳以上の方は当日、前売り料金で入場できます。 ※未就学児は無料です。



こちらからもチケット
申し込みができます

主催：盛岡市文化振興事業団、岩手日報社、岩手朝日テレビ、未来絵PROJECT実行委員会 共催：盛岡市
■特別協賛：北京玄如藝術投資管理有限公司 ■協賛：トヨタ自動車、アインホールディングス ■盛岡展協賛：株式会社 カガヤ
■後援：復興庁、アメリカ大使館、中国大使館
■特別協力：スリーエムジャパン、陸上自衛隊東北方面総監部、オフィス北野、フライングパンセ ■総合監修：勅使河原純 ■企画協力：河北新報社
【問い合わせ】盛岡市民文化ホール ☎019-621-5100 / 岩手日報社事業部 ☎019-653-4121





未来絵PROJECTとは

「未来絵PROJECT実行委員会」は、2011年3月11日の東日本大震災の記憶を芸術（アート）で未来に残そうと考え設立されました。そして、音楽家（アーティスト）が被災地復興コンサートを開催したように、芸術家（アーティスト）も同様の活動がしたい、という思いから生まれたのが今回の「絵のちから」です。次世代へのメッセージとして『人命の尊さという想いを、アートで歴史に遺す』べく、中日米三か国の天才、奇才、異才と呼ばれる作家の皆さんが被災地復興をテーマにそれぞれの作品を出品してくださいました。未曾有の出来事を経験した被災地の皆様方に「勇気と希望」を持っていただくとともに、日本中がこの震災を「風化させない」プロジェクトにしたいと私たちは考えています。

天才 婁正綱! 奇才 ビートたけし! 異才 ダグ・ウェブ!

世界的な活動をする3大アーティストが被災地をアートで支援。

中国の天才書画家

婁正綱

Lou ZhengGang



中 国の黒竜江省に生まれた天才書画家。1986年来日。日本滞在歴30年以上で日本語堪能。子供の頃から特別な国家的英才教育を受け、10代の頃には天才少女と称される。由緒正しい楷書・草書をベースに、変幻自在にして千変万化の水墨画を次々と生み出している。海外では屏風の大作を発表していることでも有名。作品は自然のもつエネルギーを、毛筆の巧みな捌きで、うねり渦巻くように画面に定着させていく独特の表現が特徴。伝統の書良、現代の絵良、それらを融合・超越した水墨画はさらに良しといった万能のアーティスト。



©婁正綱



日本が生んだ奇才

ビートたけし

Beat Takeshi

T V、舞台、映画とさまざまなジャンルで活躍するマルチタレント。絵画は誰に習う事もなく独習し、完全に無目的で作品を制作し続けていた。これまで自分の映画作品などでは背景などに時おり登場させてきたが、自ら展覧会を開き、作品を世間に向けて発表することはあまりなかった。今回は復興支援ということで、被災地の人々に元気を出してもらうためあらゆるテーマで制作された作品を総動員している。本人の素顔はシャイだが、今回の展覧会には並々ならぬ思いを寄せている。



©オフィス北野

超々現実主義を極める
米国の異才

ダグ・ウェブ

Doug Webb



米 国カリフォルニア州在住の画家。本人はその作風をスーパー・シュールレアリスム(超々現実主義)と呼ぶ。精密で細密な風景画のなかに、蝶や花、風船といった異質なものを入れ込むミステリアスさが持ち味。そこには弱者の叫び、風刺、矛盾、希望などさまざまな思いが込められている。東日本大震災においては被災地の惨状に心を寄せ、宮城県女川町や南三陸町、岩手県陸前高田市などをテーマに、消えゆく被災地の現状や震災遺構を独自の視点で描き、後世に残したいと考えている。



©ダグ・ウェブ

～被災地復興の力になりたい～ 感動させる製品をつくる —— 鐵と共に未来を創る ——

私たちは、その時代が求める新技術に絶えず取り組み、時代のニーズに的確に応え次世代へつなげるため、改善、改新をモットーとし、信頼される企業を目指し、さらに努力してまいります。そして、皆様に安全で豊かな空間を提供していければと考えております。



株式会社 カガヤ

本社・武道工場／盛岡市芋田字武道9-95
TEL019-683-2620 FAX019-683-1998

http://www.iwate-kagaya.jp/

関東営業所／東京都台東区台東3-43-6 仲御徒町フラッツ402

- 鋼構造物事業 ●建築事業 ●メガソーラー事業
- 関連企業：ホテル事業・ホテル・コーポレーション(ホテルビジネスインやまだ・マンズリーインやまだ)



盛岡市民文化ホール 展示ホール

岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1(マリオス4F) ☎019-621-5100



【徒歩】盛岡駅より西口自由通路経由徒歩3分
【バス】盛岡駅前下車、西口自由通路経由徒歩3分／盛岡駅西口下車徒歩1分



【自動車】東北自動車道・盛岡ICより約10分、盛岡ICより約9分
【飛行機】花巻空港から特急バスで40分